

チャレンジ精神に満ちた
パッケージングソリューション・プロバイダー

2020年12月期第3四半期決算説明資料

資料構成

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2. 2020年通期連結業績予想の修正

3. 参考資料



1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2020年12月期第3四半期連結決算ハイライト

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により化粧品向け需要が減少
- ・内製化努力等による生産性向上、樹脂原材料価格低下、人件費関連費用・償却負担の減少等により営業利益は増益

	2019年第3四半期 (1-9月期) ¥15.89/RMB ¥109.12/USD	2020年第3四半期 (1-9月期) ¥15.37/RMB ¥107.55/USD	前年同期比		2020年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円		百万円	
売上高	11,760	11,167	▲ 593	▲5.0 %	▲ 401	▲3.5%
営業利益	1,290	1,511	+ 221	+17.1%	+ 307	+25.6%
売上高営業利益率	11.0%	13.5%	+2.6P	—	+3.1P	—
経常利益	1,327	1,520	+ 193	+14.6%	+ 298	+24.4%
四半期純利益	880	1,020	+ 139	+15.8%	+ 202	+24.8%
減価償却費	808	788				
設備投資額	1,270	394				
(うち 金型)	232	219				
EBITDA	2,099	2,299				

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

日本

百万円

	2019年第3四半期	2020年第3四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	9,114	8,742	▲372	▲4.1%	▲9	▲0.1%
営業利益	1,072	1,214	+142	+13.3%	+261	+27.4%

売上変動要因

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、新規案件の獲得に努めたものの、リピート需要の減少が想定を上回ったことから、前年同期比、計画比ともマイナスに
- ② 2Qで増加した感染予防対策としての衛生関連向けの需要は既存取引先を中心に継続

利益変動要因

- ① 内製化努力等による生産性向上で粗利益率上昇
- ② 樹脂原材料価格が原油価格の下落により、前年同期比で37百万円負担減
- ③ 予定していた設備投資の先送りにより償却負担が計画比減少

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

中国 ※ () 内はRMBベース

百万円
(百万元)

	2019年第3四半期 ¥15.89/RMB	2020年第3四半期 ¥15.37/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,638 (166)	2,412 (156)	▲225 (▲9)	▲8.6% ▲5.5%	▲257 (▲9)	▲9.6% ▲5.9%
営業利益	344 (21)	396 (25)	+51 (+4)	+15.0% +19.0%	+33 (+3)	+9.3% +13.8%

売上変動要因

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により2月上旬の事業活動が停止したことに伴う1Qの売上減が影響
- ② 経済活動再開による2Qの需要増の反動により、在庫調整が生じたため3Qの四半期売上金額が減少

利益変動要因

- ① 樹脂原材料価格が原油価格の下落により、前年同期比で35百万円負担減
- ② 中国政府の政策により社会保険料負担が約40百万円軽減

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

その他地域

百万円

	2019年第3四半期 ¥109.12/US\$ ¥122.62/€ ¥1.57/INR ¥3.49/TB	2020年第3四半期 ¥107.55/US\$ ¥120.93/€ ¥1.46/INR ¥3.41/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	181	185	+4	+2.2%	▲93	▲33.5%
営業利益	▲129	▲103	+25	- %	+8	- %

現状、今後の見通しなど

- ① インドは新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響に伴い、インド子会社における固定資産について、現在の事業環境の変化を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、2020年12月期第4四半期において約6億円を減損損失として計上する見込みとなった。インドでの事業展開の重要性に変化なく、今後も引き続き注力していく予定。
- ② オランダは売上が計画未達も顧客からの引合は増加傾向。新規顧客も増えつつあり受注額も新規、リピートを含め増加。WEBマーケティングを欧州向けに展開予定。環境問題に関する情報収集活動と生産委託先の生産体制は維持。
- ③ アメリカは大口顧客への販売確保し受注増によるリピート需要を取り込み、売上は計画通り進捗。アメリカでも来期以降WEBマーケティングを導入予定。

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

- ・前期比の売上減少は化粧・美容区分が中心
- ・衛生関連用途向け需要は、日用・雑貨、化学・医薬、卸、その他区分にて計上

区分	2019年第3四半期		2020年第3四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
化粧・美容	6,916	58.8	6,116	54.8	▲799	▲11.6
日用・雑貨	533	4.5	723	6.5	+190	+35.7
食品・健康食品	1,032	8.8	998	8.9	▲33	▲3.3
化学・医薬	602	5.1	663	5.9	+60	+10.0
卸、その他	2,675	22.7	2,665	23.9	▲10	▲0.4
合計	11,760	100.0	11,167	100.0	▲593	▲5.0

※上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

- ・国内、海外ともに全体的な売上金額減少はあるものの、スタンダードボトル構成比は前年同期比上昇
- ・カスタムボトルでは、中国の大口の顧客金型製品販売額が増加したものの、日本の落込みにより全体としては微減

区分	2019年第3四半期		2020年第3四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自社製品 (スタンダードボトル)	8,734	74.3	8,389	75.1	▲344	▲3.9
顧客金型製品 (カスタムボトル)	1,109	9.4	1,033	9.3	▲76	▲6.9
他社製品	1,690	14.4	1,592	14.3	▲98	▲5.8
材料その他	225	1.9	152	1.4	▲73	▲32.5
合計	11,760	100.0	11,167	100.0	▲593	▲5.0

※上記区分は以下により分類しています

自社製品：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

顧客金型製品：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

他社製品：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

材料その他：協力メーカーへの原材料を販売した物等

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

金型（新製品）開発状況

当社はパッケージングソリューション・プロバイダーとしてより多くの顧客に利用いただけるボトルや付属品の品揃えを充実させ、さらに顧客商品の価値を高めるカスタマイズ（着色、印刷などの加飾）を行うことで世界の器文化に貢献しています。

このためスタンダードボトル容器の成形に不可欠な総金型数及び年間の金型製作数はKPIの一つとして重要視しています。現在進行中の中期経営計画においては、内容物の価値と個性化を高めるデザイン、優れた機能性、技術、そして高い信頼性を備えた ボトルパッケージ を顧客に提供していく

「Standout なパッケージングソリューションの創造」を目指した開発にも注力することとしています。2020年第3四半期の金型製作の進捗状況（新規製品の増加の状況）は下表のとおりです。

金型数

	2020年第3四半期 完成金型数	2020年第3四半期 保有金型累計数	製作中
日本	62 (21)	2,340	17 (2)
中国	48 (16)	1,086	42 (13)
インド	15 (7)	84	43 (10)
オランダ	- (-)	23	18 (-)
合計	125 (44)	3,533	120 (25)

※製作数の（ ）はカスタムボトル用金型（外数表示）

2020年9月末時点での自社金型数は**3,533型**となっている。

※自社保有金型数から、顧客限定金型は控除しています。

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2018年以降の四半期別業績の推移

単位：百万円

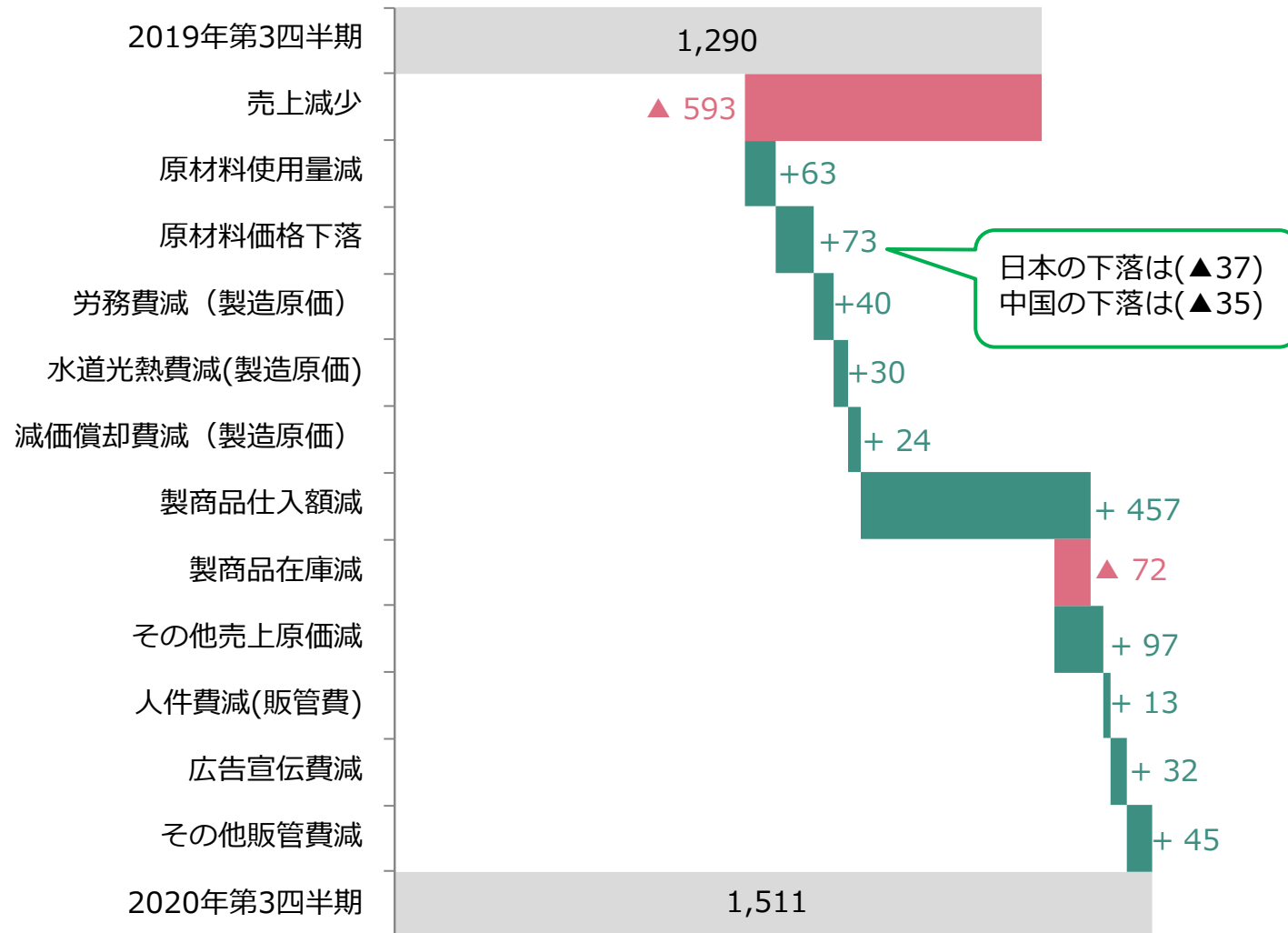


※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2020年12月期第3四半期 営業利益の変動分析

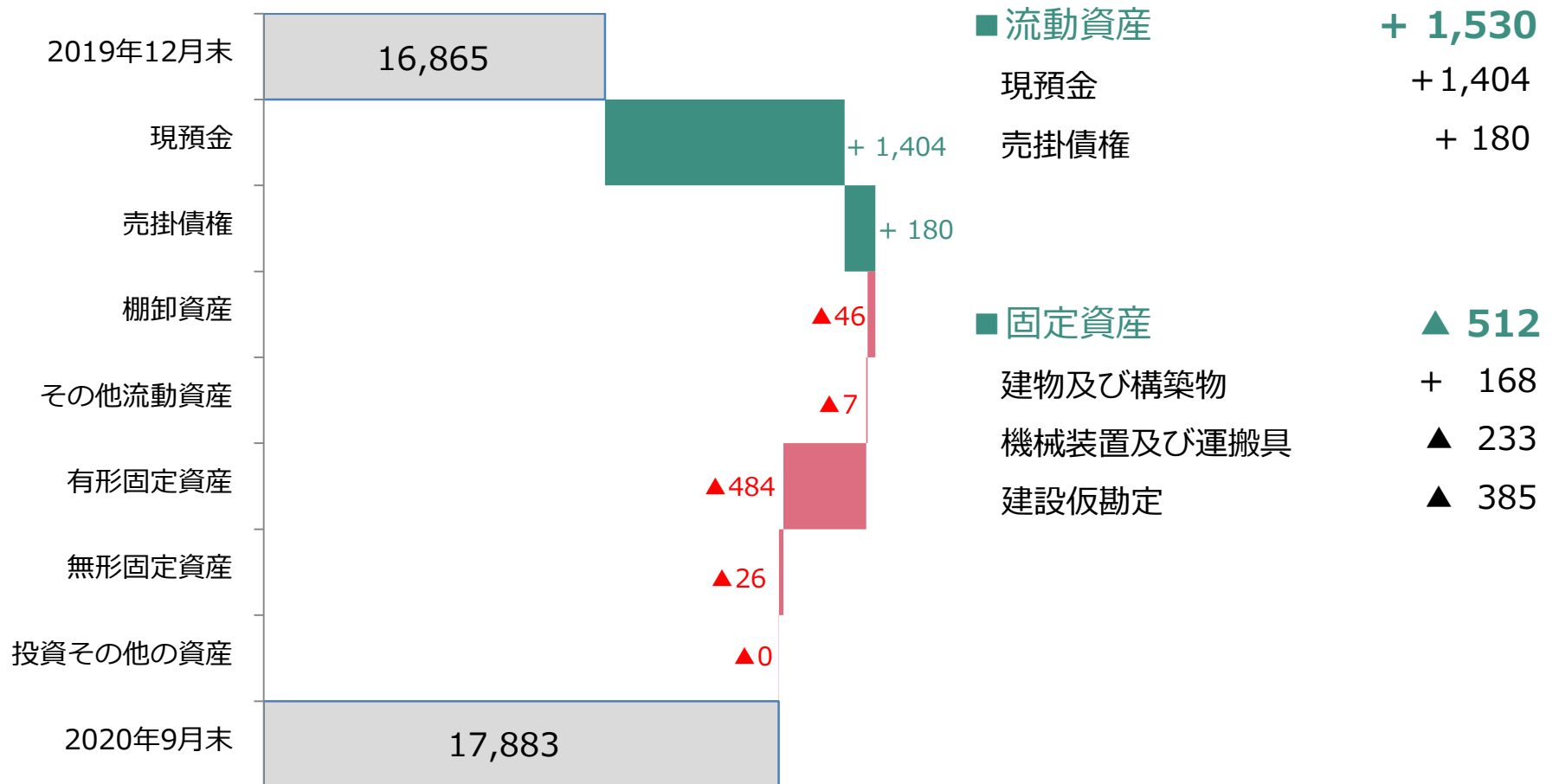
単位：百万円



1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2020年12月期第3四半期 連結貸借対照表 資産の部

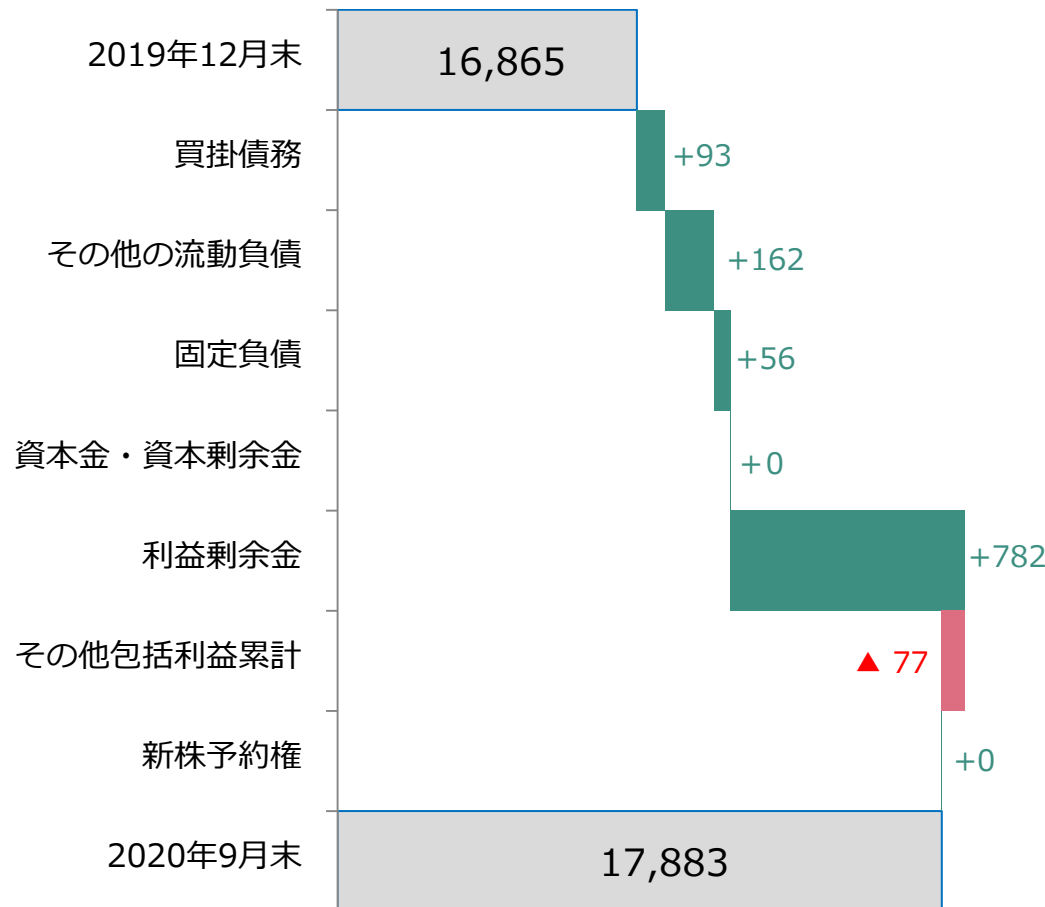
単位：百万円



1. 2020年12月期第3四半期業績概要

2020年12月期第3四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



■ 流動負債 + 256

支払手形及び買掛金	▲ 31
電子記録債務	+ 124
設備支払手形	▲ 102
1年内返済予定長期借入金	+ 142
未払法人税等	+ 164

■ 固定負債 + 56

長期借入金	+ 35
(うち、長期借入金による資金調達)	(+ 700)

■ 純資産 + 705

利益剰余金 (当期純利益分)	+ 1,020
(配当金支払)	▲ 238
為替換算調整額	▲ 80

資料構成

1. 2020年12月期第3四半期業績概要
2. 2020年通期連結業績予想の修正
3. 参考資料



2. 2020年通期業績予想の修正

2020年12月期通期業績予想の修正

- ・2020年12月期の通期連結業績につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染症の影響による化粧品業界向け需要の減少等により前回発表した予想数値を下回る見込みです。
- ・利益につきましては内製化努力等による生産性の向上、樹脂原材料価格の低下、人件費関連費用・減価償却負担の減少等により、営業利益、経常利益は前回発表した予想数値を上回る見込みです。
- ・また、インド子会社における固定資産の減損損失により親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表した予想数値を下回る見込みです。
- ・今回の減損損失は会計上の手続きによるものであり、インド事業の位置づけの重要性は変わりなく、新型コロナウイルス感染症を考慮しつつ、インドでの事業展開を継続する予定です。

	2019年12月期	2020年12月期 当初計画(A)	2020年12月期 修正見込(B)	増減額 (B)-(A)	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高	15,196	15,500	14,600	▲900	▲5.8%
営業利益	1,538	1,600	1,650	+50	+3.1%
売上高営業利益率	10.1%	10.3%	11.3%	+1.0 P	—
経常利益	1,575	1,600	1,660	+60	+3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,043	1,100	400	▲700	▲63.6%

2. 2020年通期業績予想の修正

配当政策

- ・当社では、配当方針として配当性向20%以上を目標として設定しています。
- ・この度の親会社株主に帰属する当期純利益の減額は、減損損失の発生に伴うものです。
減損損失はあくまでも会計上の処理であり、キャッシュフロー上の影響を伴わないことや安定した配当を継続して実施していく基本方針から、配当予定額は変更しない予定です。

	2019年12月期実績	2020年12月期計画
中間配当金	9.50円	9.50円
期末配当金	9.50円	9.50円（予定）
年間配当金	19.00円	19.00円
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,043百万円	400百万円
配当性向	22.8%	59.5%

資料構成

1. 2020年12月期第3四半期業績概要
2. 2020年通期連結業績予想の修正
3. 参考資料





竹本容器株式会社
代表取締役社長

竹本 笑子

会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

資本金 8億342万1,725円（2020年6月30日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2020年6月30日現在）

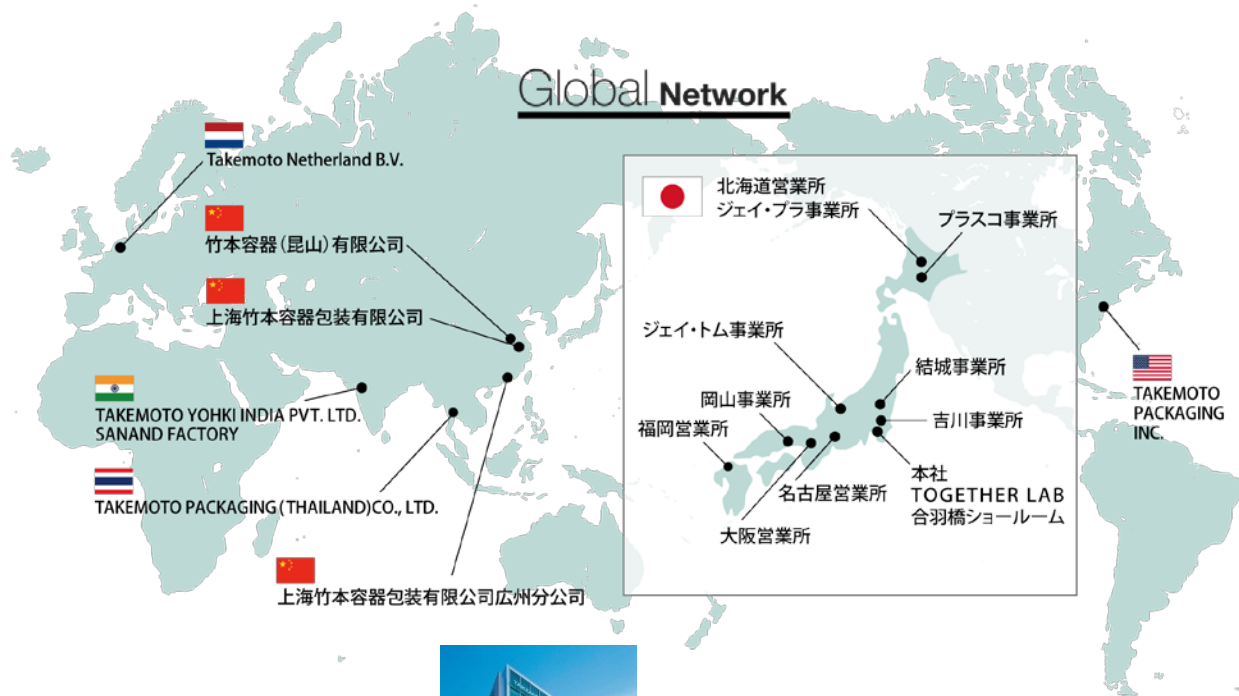
単元株主数 9,602名（2020年6月30日現在）

グループ従業員数 955名（2020年6月30日現在）

上場市場 東京証券取引所市場第一部

[証券コード：4248]

ホームページ <http://www.takemotokk.co.jp>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
包装容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては Standout な
パッケージングソリューション創造のために